

主張



党の自公と協議したが、政策の裏付けとなる財源は明確でなく、政権を担当する意欲が感じられませんでした。

このコラムに前回寄稿したときは、2021年10月で衆議院選挙の最中でした。その中に「今回の総選挙では自公の安定過半数を阻止して与野党伯仲の状態とし、次の国会論議で政権担当できる力があることを国民に示して、来年7月の参議院選挙で参議院の過半数を制した後に、衆議院選挙で政権交代が実現することです。そのためには、野党は、これまでのように離合集散することなく、自公に対抗しうる政治勢力になることを期待します」と述べています。

昨年10月の衆院選の結果、自公与党の過半数割れとなり、「期待」の半分が実現しました。その後の国会では、野党は公約した政策の実現

と国民民主党から、献金の上限額を制限し監査を強化するという自民党と野党の中間的な案、さらに献金の受け入れ先を拡大する修正案が出されたものの、合意にならず改正は見送りとなった。受け入れ先拡大を認めた国民民主党は自民党に寄ったことになり、残念に思います。

自民党が連立であっても政権にいる限り、政

選択的夫婦別姓制度について地元紙に特集があり注目していたが、28年ぶりに審議されたものの法改正は先送りとなりました。民法に「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と定めてあり、結婚時にどちらかが改姓しなければならず、9割が女性であるという。家は男が継ぐものの、家族は夫が主で妻は助ける者という意識が潜在的にあると思います。この意識が、働き方、賃金、育児・介護などあらゆる男女格差の根底にあると思います。

選択的夫婦別姓制度は、別姓でいたい人の法律婚を認めるもので同姓を望む人に強制するものでないことは明らかですので、同姓の価値観、別姓の価値観を共に尊重するものであり、多様性を認め合う社会の一つだと思います。

その実現のためにも、政権交代が必要です。

私が期待するもの

山陰シニアクラブ会長 遠藤 渡

この国会で成立せず継続審議になったものに政治資金規正法改正と選択的夫婦別姓制度があります。

治資金の公平性、透明性が確保され、信頼できる政治の実現は無理ですので、政権交代が必要です。

第27回参議院議員選挙
郡山りょう当选



皆さまのご支援、ご協力に心より感謝いたします。

7月20日投開票の第27回参議院議員選挙において、JAM組織内候補の「郡山りょう」は、94,610票を獲得し見事に当選の榮譽を勝ち得ました。JAMとしては、9年ぶりに組織内参議院議員が誕生することになります。

激戦の中、7月21日午前11時過ぎにマスコミの「当選確実」の報が入り、選挙事務所のある友愛会館の付近で待機していた郡山候補が、万雷の拍手の中、事務所に入りました。郡山候補、JAMの役員とスタッフ、基幹労連役員の皆さん、郡山玲候補のご家族、そろって、歓喜の万歳三唱を行いました。

JAMシニアクラブ6200人の全会員とそのご家

立憲民主党 比例代表選挙の結果

No.	当落	候補者名	現新元	得票数	連合推薦
1	当選	蓮 舫	元	339,310	
2	当選	岸真紀子	現	147,647	○
3	当選	吉川沙織	現	116,314	○
4	当選	水岡俊一	現	116,142	○
5	当選	小沢雅仁	現	99,963	○
6	当選	郡山りょう	新	94,610	○
7	当選	森 裕子	元	92,395	
8	落選	白 真勲	元	89,882	
9	落選	石川大我	現	84,721	
10	落選	森屋 隆	現	74,495	○
11	落選	川田龍平	現	51,276	

族の皆様に厚く御礼を申し上げるとともに、「郡山りょう」必勝に向けて、全国各地でご奮闘いただいた、地方シニアクラブ役員の皆さんに心より敬意を表するしだいです。

JAMシニアクラブは、新しく誕生した「郡山りょう」

う」参議院議員、そして「村田きょうこ」参議院議員としつかり連携しながら、社会保障制度や税制の改革により、退職者・高齢者の暮らしを守り、誰もが生き生きとして安心して暮らせる社会の実現のため、今後も政策制度の取組みを強力に推進していきます。

広島

総会を開催
川本学 副代表幹事



JAM広島シニアクラブは5月15日ワークショップ広島にて2025年度総会を開催しました。総会には来賓を含め22名が出席しました。

時間の都合で、総会に先立って参議院議員選挙比例区「JAM組織内議員予定候補者 郡山りょう」・参議院議員広島選挙区「JAM組織内議員森本しんじ」より7月予定の選挙に向けて決意表明がありました。

総会では、25年度活動方針(案)に関する件・予算(案)に関する件・役員の確認について承認されました。

総会終了後、懇親会に移り各自親睦を深め、あつと言う間の2時間が過ぎ、最後に次回の再会と参議院議員選挙候補者の当選に向けての取り組みを確認して終了しました。

※参議院選前に投稿された記事です。

大阪

大阪高齢集会に参加
原正巳 事務局次長

6月3日、天満橋・ドーセンセンターで、大阪退職者連合主催の「2025大阪高齢集会」が開催され、全体の参加者は430名、JAMシニアクラブから20名が参加した。集会スローガンは「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!」。

主催者挨拶で徳永会長は各種課題の取り組みと、参議院比例選挙での連合候補10名の全員当選の取り組み強化に加え、「日本退職者連合が提起している300万会員に向けた取り組みに呼応し、大阪としても連合大阪と連携し組織拡大に取り組む」との決意表明がされました。

来賓として、連合大阪、日本退職者連合、立憲民主



党、国民民主党の各代表から、連帯の挨拶を受けました。

大阪退職者連合は、運動の重点を「介護保険制度・高齢者保健福祉制度の充実」に置き、大阪府と各自自治体に対し独自の要求を行ってきた。団塊の世代が75歳以上になる2025年には、介護職員の不足が43万人になり、2035年には79万人になるという試算が発表されている。独自の要求活動では、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、切れ目のない医療・介護のネットワークを、市民参画のもと確立することを求めています。

最後に、介護保険制度など高齢者に係る取り組み強化に加え、「ロシアにウクライナから即時の撤退を求める」などの集会宣言を採択しました。

集会后、大阪府警府民安全課から「SNS型投資・ロマンス詐欺」の寸劇と講演を受け、参加者一同、改めて被害に遭わないよう注意することを確認しました。

集会后、大阪府役所までの約1時間のデモ行進の予定でしたが、あいにくの雨のため、中止となり参加者の中から、「1年ぶりのデモが出来ず残念だ」との声が上がりました。

愛知

日帰り交流会開催
澤山棋正 事務局長



愛知シニアクラブは5月31日、名古屋市久屋大通庭園フラリエでの散策と昼食会を20名の参加で開催しました。ちょうど庭園で開催していた「花マルシェ」の出店を覗いた後、名古屋名物「矢場とんの味噌カツ御膳」を堪能しました。

インバウンドの影響で土曜日に一堂に会する食事が中々開けなかった中で開催できて、「良かったね、またやりましょう」と確認しあいました。

神奈川
藤沢宿・遊行寺を歩く
加藤照雄 事務局長

神奈川シニアクラブの今年のハイキングは、箱根駅伝で有名な権太坂から遊行寺坂の難所で有名な国道1



号線を辿り、途中の鉄砲宿から歩きはじめ遊行寺坂を経て、ふじさわの宿場跡を通り白幡神社までの歴史をたどるコースとなりました。

いつも、京都シニアの地元の名所を巡るハイキング報告を拝見し、うらやましく思い、一昨年、会員の協力を得て鎌倉山から長谷寺までのハイキングを企画しましたが、インバウンドの観光客が多くハイキングになりませんでした。今年は、同じ鎌倉時代の古刹ながらインバウンド観光客の多い「藤沢宿・遊行寺」のハイキングを企画しました。

今回のハイキングコースは、戸塚駅に集合し、バスで国道1号線を藤沢方面に移動、遊行寺、藤沢宿交流館、藤沢宿跡、白幡神社、義経首洗い井戸、藤沢本町駅としました。

今回の参加者は、スタン

レー青春クラブ、ビクターOB会など総勢17名(女性参加者6名)です。

時期はいつ梅雨になるかわからない6月7日土曜日でしたが、雨の先週とは違い好天に恵まれ、女性参加者は日焼けに悩まされました。

バスは鉄砲宿で下車、旧東海道の松林などの面影が残る道を遊行寺方面に坂を下りました。遊行寺は、鎌倉時代、一遍上人を開祖として開山された「時宗」の総本山で寺内には、多くの国宝があり、参加者は、本堂に入りお参りをしました。

次に、藤沢宿交流館にて東海道の発展と共に栄えた藤沢宿の歴史を学びました。交流館を後にして、藤沢御殿跡、本陣跡、問屋場跡を経て、白幡神社をお参りして昼食タイム。白幡神社は、源氏の氏神として敬われてきました。最後に、義経の首が死後白幡神社のそばに流れ着き、汚れを落すため首を洗ったとする井戸「義経首洗い井戸」を見学しました。

鉄砲宿から藤沢本町駅への解散場所まで約6kmのハイキングでした。午後2時に無事に終わったお礼と、来年の参加をお願いして解散しました。